

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2007-228419(P2007-228419A)

【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2006-48974(P2006-48974)

【国際特許分類】

H 04 W 4/00 (2009.01)

【F I】

H 04 B 7/26 M

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月20日(2009.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷装置であって、

接続で使用する一時的な接続情報を生成する生成手段と、

前記一時的な接続情報を提示し、該一時的な接続情報により端末との間の接続を行う接続手段と、

を有することを特徴とする印刷装置。

【請求項2】

前記生成手段は、複数の端末に対してそれぞれ異なる一時的な接続情報を生成し、管理することを特徴とする請求項1に記載の印刷装置。

【請求項3】

前記管理する一時的な接続情報を削除する削除手段を更に有することを特徴とする請求項2に記載の印刷装置。

【請求項4】

前記削除手段は、端末が前記一時的な接続情報により接続要求した場合、接続を終了した後、前記一時的な接続情報を削除することを特徴とする請求項3に記載の印刷装置。

【請求項5】

前記一時的な接続情報は、少なくとも有効期間、使用の条件に基づいて管理されることを特徴とする請求項1乃至4の何れか一項に記載の印刷装置。

【請求項6】

前記一時的な接続情報を少なくとも有効期間が経過した時点か使用の条件が達成された時点で無効とすることを特徴とする請求項1乃至5の何れか一項に記載の印刷装置。

【請求項7】

前記接続した端末の種類を識別し、前記一時的な接続情報の有効期限を設定することを特徴とする請求項1乃至6の何れか一項に記載の印刷装置。

【請求項8】

前記一時的な接続情報と共に、前記端末とのペアリング情報を管理することを特徴とする請求項1乃至7の何れか一項に記載の印刷装置。

【請求項9】

印刷装置の接続方法であって、

接続で使用する一時的な接続情報を生成する生成工程と、  
前記一時的な接続情報を提示し、該一時的な接続情報により端末との間の接続を行う接  
続工程と、

を有することを特徴とする印刷装置の接続方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の印刷装置の接続方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプロ  
グラム。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のプログラムを記録したコンピュータにより読み取り可能な記録媒体  
。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】印刷装置及びその接続方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、端末との間で接続可能な印刷装置及びその接続方法に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、一時的な接続情報を生成して提示し、該端末との間の接続を行うことを目的  
とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、印刷装置であって、接続で使用する一時的な接続情報を生成する生成手段と  
、前記一時的な接続情報を提示し、該一時的な接続情報により端末との間の接続を行う接  
続手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、本発明は、印刷装置の接続方法であって、接続で使用する一時的な接続情報を生  
成する生成工程と、前記一時的な接続情報を提示し、該一時的な接続情報により端末との間の接続  
を行う接続工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、一時的な接続情報を生成して提示し、該端末との間の接続を行うことにより、端末が印刷装置に接続することができる。